

地域防災連続セミナー

～しなやかなまち福知山を目指して～

参加
無料



第3回のセミナーでは、南海トラフ巨大地震・津波の新想定で日本で最も高い津波が来ると予測された黒潮町での10年間の防災実践について「弱さ」をキーワードに振り返ります。防災先進地と呼ばれるようになった黒潮町ではどのような・どのように取り組みが進められてきたのでしょうか。黒潮町の事例から福知山での地域防災について考えてみませんか。

第3回

【準備期】

「弱さ」の力でつながる地域防災

ー日本一の津波が来るとされた高知県黒潮町の事例から

日時 令和5年11月17日(金)18時～19時

場所 市民交流プラザふくちやま 3-1(3階)

定員 20名

講師：杉山 高志 氏



九州大学大学院人間環境学研究院・准教授。博士(情報学)。社会心理学の観点から地域防災の推進に関する研究を行う。特に、住民の主体性をふまえた防災活動や要配慮者を対象とした避難訓練、ICTを活用した防災活動の手法の開発などを研究している。高知県黒潮町や静岡県沼津市、宮崎県宮崎市などで住民や行政、学校と連携して、津波や地震、土砂豪雨防災のアクションリサーチに取り組む。



第4回のセミナーでは、線状降水帯による大水害を2度経験した佐賀県武雄市における災害ボランティア団体の事例から、災害対応に備えるボランティア・市民組織のあり方について考えます。福知山とは無縁ではない、繰り返し起こる水害 ーいわば「多重被災」ーへの備えと対応について一緒に考えてみませんか。

第4回

【対応期】

地域力を集めた災害対応から学ぶ

ー佐賀県武雄市水害の実践から

日時 令和5年11月24日(金)18時～19時

場所 市民交流プラザふくちやま 3-3(3階)

定員 20名

講師：頼政 良太 氏



関西学院大学人間福祉学部社会起業学科助教。兵庫県立大学減災復興政策研究科博士後期課程修了。神戸学院大学非常勤講師。2007年に神戸大学に入学。同時に能登半島地震の被災地で災害ボランティア活動を始める。その後、中越沖地震、兵庫県佐用町水害、東日本大震災、熊本地震など計25以上の国内の災害救援活動に従事。2011年4月より被災地NGO協働センタースタッフ。2015年5月より同代表。平成30年度兵庫県「若人の賞」受賞。1988年広島市生まれ。

※本セミナーは、JSPS科研費 20H01568、22KJ3224の助成を受けたものです。

右記QRコードより申込フォーム
にてお申込みください

締切：令和5年11月10日(金)



概要：<https://www.fukuchiyama.ac.jp/institutions/bosai/>
問合せ：大門研究室 daimon-hiroaki@fukuchiyama.ac.jp

福知山公立大学

突然の自然災害や災害に対する準備と知識は、私たちの生活や地域の安全を守るために欠かせません。当セミナーでは、各テーマごとに講師に専門家の先生をお招きし、幅広い視点からのアドバイスや情報を提供していただきます。ご家族やご友人と一緒に、地域の安全を共に考える機会として、ぜひご参加ください！

第5回

令和5年12月8日(金)

復興期

記憶を復興する

—岩手県野田村被災写真返却お茶会の事例から考える

第5回のセミナーでは、水害や津波で流出した写真を洗浄し持ち主に返却する現場で出会った事例をもとに、復興とは何かについて考えていきたいと思います。東日本大震災後の被災写真を返却するボランティア活動の取り組みから、ただ元に戻すでも、新しくつくりなおすでもない復興のあり方を考えてみませんか。



宮前 良平氏

福山市立大学 都市経営学部・講師

第6回

令和5年12月22日(金)

復興期

復興で命を守るために

—避難「後」の防災の事例から

第6回のセミナーでは、災害から命を守るために、意外と見落とされているような点に着目します。実は災害直後に避難をすることだけが防災ではないのです。近年の災害の事例をみながら、災害復興の中で地域でどのようなことができるのかを皆さんと一緒に考えたいと思います。



宮本 匠氏

大阪大学大学院 人間科学研究部・准教授

第7回

令和6年
1月19日(金)

復興期

地域食堂から学ぶ「ありあわせ」の技法

—熊本地震と西日本豪雨被災地での事例から

講師：王文潔氏 (大阪大学 人間科学部・助教)

プリコラージュ

第8回

令和6年
1月26日(金)

準備期

避難スイッチの作り方

—福知山市の事例から見る早期避難の試み

講師：竹之内 健介氏 (香川大学 創造工学部・准教授)

第9回

令和6年
2月9日(金)

対応期

災害ボランティアの力を借りるために

—多様な(なんでもありの)活動の事例から

講師：大門 大朗氏 (福知山公立大学 地域経営学部・准教授)

第10回

令和6年
2月23日(金)

準備期

100年続ける防災活動？住民が飽きないための地域防災の工夫

—「検証」が難しい巨大災害に取り組む高知県黒潮町の事例から

講師：松原 悠氏 (滋賀大学 データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター・助教)

第11回

令和6年
3月8日(金)

福知山

大学と地域の防災連携

—福知山公立大学地域防災研究センターの事例から

講師：水口 学氏 (福知山公立大学 地域防災研究センター・センター長)